

保護者様

松戸市立相模台小学校
校長 保坂 和志

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について

初冬の候、保護者の皆様には益々ご健勝のことと存じます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、5月27日に実施されました「全国学力・学習状況調査」(6年生が実施)の結果について、概要をお知らせします。

この調査は、学力の一部を調べたものです。したがって、得点や他校との比較については、調査の趣旨とは異なるため、説明しかねますことをご了承下さい。

本調査からうかがえる成果や傾向、課題について以下のように分析し、報告するとともに、これからの本校の教育活動に生かしてまいります。

1 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語・算数)
- (2) 生活習慣や学習習慣等に関する質問紙調査

2 相模台小学校の調査結果

(1) 教科に関する調査結果について

- ・国語、算数のどちらにおいても全国平均・千葉県平均正答率と同程度の結果です。
- ・正答数分布も全国や千葉県の結果と大きく変わりはなく、標準偏差※の幅も小さいばらつきも少ない結果です。※資料が平均値のまわりにどの程度の広がり分布しているかを示す一つの尺度

【国語】

- ・思考力、判断力、表現力等の「話すこと・聞くこと」の指導事項において全国の正答率よりも高い正答率でした。国語科に関わらず、各教科での、自分の言葉で説明したり、友だちの話などを傾聴したりする様々な対話の形態を重視した学習活動の成果が表れていると考えられます。
- ・全国的な課題同様、「情報を関係づける力」「要約する力」「理由を明確にしながら書く力」に課題が見られました。複数の情報の要点を関係づけて考えたり、それらを基に、根拠や理由付けを明確にして意見を述べたりする学習活動に重点を置いて指導していきます。

【算数】

- ・「図形」と「データ」の活用の領域において全国や千葉県の結果よりやや高い正答率でした。図形の学習では、昨年度の面積の求め方の学習の自分の言葉で説明するアウトプットを重視した学習の成果が出ていると考えられます。
- ・「知識・技能」に関わる正答率が全国や千葉県の結果と比較して高いことから、基礎的な内容が確実に身に付いていることがわかります。ドリルタイムでの基礎基本の学習の積み重ねが成果として表れていると考えられます。
- ・「記述式」の問題は全国や千葉県の平均正答率よりは高いものの、数値としては、低い結果になっており、全国的な課題と同様です。筋道立てて説明する学習活動をより充実させて思考力の育成を図っていきます。

(2) 児童質問紙の回答について

- ・「人の役に立つ人間になりたい」「友だちと協力するのが楽しい」の肯定的な回答が多く、人との関わりを大切にしている気持ちが育っており、協調性や協働性が高いことがわかります。
- ・国語や算数の文章で書く問題で「最後まで解答を書こうと努力した」児童が多く粘り強く取り組む気持ちが育っている児童が多いです。
- ・「家で自分で計画を立てて勉強をよくしている」という回答がやや低いので、自分の学習状況を把握しながら必要なことを必要なだけ行えるように家庭自主学習の取り組みを通して指導してまいります。